

特集●歯周病予防からのヘルスプロモーション

歯周病予防の視点からヘルスプロモーションを考える——NPO法人 WELL-BEING 中村 譲治
地域保健における歯周病予防の取り組み

大阪府健康福祉部地域保健福祉室健康づくり感染症課 今西 秀明・大西 宏昭
九州大学大学院歯学研究科口腔保健推進学講座 山下 喜久
歯周病と心疾患 東海大学医学部付属八王子病院歯科・口腔外科 坂本 春生
歯周病と呼吸器疾患 米山歯科クリニック 米山 武義
妊娠期の歯周病 東京医科歯科大学大学院健康推進歯学分野 品田佳世子
専門的口腔ケア 東京都立心身障害者口腔保健センター 河野 晴美・笹川百吏子
職域における歯周病検診 日立製作所戸塚総合病院歯科口腔外科 品川 隆

●視点
歯科保健医療対策の動向——厚生労働省医政局歯科保健課長 日高 勝美

●特別寄稿
六ヶ所村の現在から未来を展望する——(株)グループ現代 鎌仲ひとみ

あとがき

過労死の問題が上畑鉄之丞先生によって初めて指摘されてから、30年以上の年月が経過しています。それにもかかわらず、労働者派遣の業種拡大、成果主義や裁量労働制の導入といった近年の労働環境の変化は、さらなる過労死、過労自死を引き起こす方向へ向かっているのではないかと危惧されます。最近話題になったホワイトカラーエグゼンプションの導入も、周知のとおり、表向き自律的労働と言いつつ、際限のない時間外労働を招く危険が内在しています。これらの経緯を踏まえ、今月、主にいわゆるホワイトカラーに焦点を当てて、長時間労働を中心とした労働衛生上の問題について特集を企画しました。

労働と健康の関係は公衆衛生上きわめて重要な問題です。ほとんどの人は、生きていく上で仕事(家事を含む)を避けることはできません。その仕事で健康を害する危険をなくすために、われわれ公衆衛生従事者は、あらゆる場面で積極的に取り組んでいかなければならないと考えています。本特集では、先生方にそれぞれ読み応えのある内容をご執筆いただきました。保健所や市町村等での、過労死、過労自死、またそれにつながる労働による身体と心の

疾病をなくしていく取り組みの参考にさせていただければと思います。

規制緩和の名の下、様々な改革(?)がなされ、ホワイトカラーのみならず、タクシーやバス、トラックの運転手さんたちの労働環境も悪化していると報道されています。さらに、非正規雇用の増大で、いわゆるワーキングプアと呼ばれる低所得者の増加も報道されています。戦前や戦後直後の保健婦さんたちの活動の記録を見ていると、住民のあまりの貧しさに、保健衛生の前に、どうしたら現金収入が増やせるかを一緒に考えていたという話が出てきます。21世紀の現代日本において、私たちが同じような活動をしなくてはなくなることを、少し危惧しています。(西田茂樹)

●お詫びと訂正

本誌71巻3号(前月号)の特別記事「学び合う地域保健活動—イギリスと日本(227～234頁)」の座談会のご出席者のお名前に誤植がありました。

誤：水野佳子氏→正：水野桂子氏

お詫びして訂正いたします。

(編集部)

公衆衛生(第71巻 第4号) 2007年4月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,415 円(本体 2,300 円+税 5%) (2007 年々ぎめ予約購読料 28,200 円 ※配送料弊社負担)

発行：株式会社 医学書院 代表者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

本誌編集室直通 TEL (03) 3817-5718 FAX (03) 3815-7802

販売部直通 TEL (03) 3817-5659・5660 FAX (03) 3815-7804

E-mail: koshu@igaku-shoin.co.jp 振替口座 00170-9-96693 番

印刷所：三美印刷(株) TEL (03) 3803-3131

広告申込所：(株)東広社 TEL (03) 3409-8803/デザイン：デザイン・プレス

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2007. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ JCLIS 《創日本著作出版権管理システム委託出版物》

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に《創日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)》の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田 羅浩三 大阪大学名誉教授・放送大学教授

林 謙治 国立保健医療科学院

編集委員 (50 音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部・衛生研究所

桜山 豊夫 東京都福祉保健局保健政策部

高島 毛敏雄 大阪大学・社会環境医学

西田 茂樹 福島県衛生研究所

編集室通信

海外に行ったり外国の方と触れ合うと「働きすぎだよ、日本人」と感じます。勤勉さは私たち日本人の美德ですが、健康や、家族や同僚などかけがえのない人間関係を損なっては、本末転倒。それはアタマではわかってはいるけど、会社のやり方が、労働環境が…そして生活の糧のためには、多少の犠牲を払ってでも働かざるを得ない…。身体は正直だから、臨界点を越えようと不調が起きます。今、こういう状況に陥る人が増えている。人の健康よりお金を稼ぐことが大事という経済至上主義の世の中の動きに、正直、もう疲れてしまったとお思ひの方も多いのでは。真に大切なもの、豊かなものは、お金ではない。1人ひとりの価値観の転換が求められていることを感じる。今日この頃です。(野中)

(担当/野中・天野)